

演題            3D 模型を応用し歯牙移植を計画している 1 症例

演者名        飯干光男

日付           2014 年 1 月 28 日

keywords

1. 歯牙移植
2. 3D 模型

歯牙欠損部への補綴にはブリッジ、有床義歯、インプラントが用いられるのが、一般的であるが、健全な智歯や、位置異常歯が同一口腔内にある場合、その歯牙を欠損部に移植することで、できる限り生体に親和した補綴をおこなうことができる。

しかし、2 次元的なレントゲン像では、移植床のサイズが移植する歯牙に比し、近遠心、頬舌的骨幅が十分なのかが不明である。また、たとえ CT 像の 3D で診断したとしても、根形態によっては、移植床の形成に時間がかかることや、フィットを確かめるために移植歯を移植床に出し入れする際の歯根膜へのダメージなどが考えられる。

今回、CT データから、下顎模型、抜去歯、移植歯の 3D 模型を作成し、事前に骨形成のシュミレーションをおこなって、移植してみてもどうか? と考えた。

移植を成功させるための御意見をいただければ幸いです。